

製品安全データシート



1, 化学物質等及び会社情報

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16
電話番号 03-3270-5426 FAX 番号 03-3270-5418
担当部門 試薬部 担当者 菅野英奇
住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1 -6
緊急連絡電話番号 0489-86-6161 FAX 番号 0489-89-2787
作成日 2001 年 3 月 7 日
整理番号 26160
製品名 (特級) クペロン Cupferron

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品

化学名：クペロン

別名：ニトロソフェニルヒドロキシルアミンアンモニウム塩 Nitrosophenylhydroxylamine ammonium salt

化学式：C₆H₉N₃O₂

CAS No: 135-20-6

含有量：98%以上

化審法：9-2320

安衛法：公表

3, 危険有害性の要約

分類の名称：自己反応性物質

危険性：強い衝撃や熱により分解又は、爆発することがある。

有害性：吸入又は飲み込んだ場合有害であり、皮膚,眼,粘膜に接触すると刺激作用がある。

4, 応急措置

眼に入った場合

直ちに多量の水で 15 分間以上洗い流す。

皮膚に付いた場合

多量の水で石鹸を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。

吸入した場合

新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、直ちに医師の手当を受ける。

誤飲した場合

口をすすぎ、多量の水を飲ませて薄める。吐かせないこと。直ちに医師の手当を受ける。

5, 火災時の措置

消火方法

1. 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周囲に水噴霧で冷却する。

2. 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。爆発の恐れがあるので、遮蔽物を利用して作業する。

消火剤

粉末, 二酸化炭素, 泡, 水。

6, 漏出時の措置

火気厳禁とし、保護具を着用し、できるだけ空容器に回収する。残りはウエス, 雑巾等で拭き取り、多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないよう注意する。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 取扱い場所の周辺の火気使用を厳禁する。加熱状態で取り扱うときには、静電気, 衝撃火花などの着火源に特に注意すること。
2. 吸い込んだり、眼・皮膚および衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。
3. 取扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密封する。
4. 漏れ、飛散しないようにし、粉塵を発生させないようにする。
5. 容器を転倒させ、落下させ、または引きずる、等の粗暴な取扱をしない。

保管

1. 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
 2. 容器は遮光し、換気のよい乾燥した冷暗所に貯蔵する。
 3. 変化しやすく、長期保存に耐えない。
-

8, 暴露防止及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会： - - -

ACGHI(TLV): - - -

OSHA(PEL): - - -

設備対策

1. 屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
 2. 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 保護具：防毒・防塵マスク, 空気呼吸器, 保護衣, 保護眼鏡, 保護手袋、保護長靴。
-

9, 物理的及び化学的性質

外観等

1. 白色～微黄褐色結晶または結晶性粉末。
2. 特異臭有り。
3. 種々の金属時レートを生成する。

融点：163～164

分解温度：141～144

比重： - - -

溶解度：水, エタノールにはよく溶ける。

10, 安定性及び反応性

引火点： - - -

発火点： - - -

爆発範囲： - - -

安全性・反応性

1. 種々の金属とキレートを生成する。
2. 118 より発熱分解が認められる。
3. 変化しやすく、長期保存に耐えない。

11, 有害性情報

刺激性(皮膚, 眼)

眼刺激 ウサギ: 20mg/24 時間 中程度

急性毒性(RTECS)

経口 ラット LD50 199mg/kg

がん原性

NTP(発がん性があると合理的に予想される化学品)

経口 ラット LDLo 123g/kg/78 週間-継続的; 循環器, 肝臓に腫瘍

変異原性(微生物, 染色体異常)

微生物を用いる変異原性試験: 大腸菌; 333 µg/plate, サルモネラ菌; 100 µg/plate

12, 環境影響情報

該当情報なし

13, 廃棄上の注意

1. アフターバーナー付き燃焼炉で少量ずつ焼却する。
2. 過剰の可燃性溶剤又は重油等の燃料と共にアフターバーナー付き燃焼炉の火室へ噴霧し、焼却する。

14, 輸送上の注意

1. 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
2. その他、消防法等の定めるところに従う。

国連分類: クラス 6.1 等級

国連番号: 2811(その他の毒物、有機物、固体)

15, 適用法令

消防法: 第2条危険物第5類ニトロソ化合物 第2種自己反応性物質 危険等級

危規則: 第3条危険物告示別表第4毒物(N-上・下・下等級3)

航空則: 施行規則第194条危険物告示別表第9条毒物(M-等級3)

16, その他の情報

参考文献

Merck Index (11th Edition)

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH(1985-86)

米国 OSHA 危険有害性の周知基準-規則と危険有害性物質リスト-(第4版)

(日本化学物質安全・情報センター(1989))

13901の化学商品(化学工業日報社)

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安

全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。